

認

知

症

と

と

も

に

大和市

チームオレンジ 活動の手引き

令和7年4月

大和市人生100年推進課

認知症施策推進係



歩

む

ま

ち

や

ま

と

目次

ページ数

1. はじめに	2
2. チームオレンジとは	3
3. チームオレンジの活動例	5
① 外出の同行、日常生活のサポートなど	
② 認知症関連イベントへの運営参加	
③ 認知症で悩んでいる人に対する情報提供	
④ 安心して外出できるお手伝い	
4. チームオレンジで活動したいときは	8
5. 活動で注意すること	9
6. 認知症地域支援推進員がいます	11

巻末資料

若年性認知症の自主グループ

「わすれな草の会」の紹介	14
--------------------	----

1. はじめに

65 歳以上の 5 人に 1 人が認知症と言われています。自分や家族を含めて、あらゆる人が認知症に関わる社会となっています。

大和市では、認知症になっても、毎日を楽しく、元気に、自分らしく暮らすことのできるまちを目指しています。

認知症への理解があるまちでは、本人だけではなく、家族、地域の人、みんなが、暮らしやすくなります。

やりたいことを、楽しいひと時を過ごす仲間、「認知症になっても、よろしくね」と言いあえる仲間の輪を広げていきましょう。

これからの日々を、あなたがよりよく暮らせるように、あなたが暮らす大和市がともに暮らしやすいまちになるように、できることからひとつずつ、チームオレンジの活動に取り組んでみませんか。



2. チームオレンジとは

チームオレンジは、認知症サポーターと、地域で暮らす認知症の人をつなぐ取組です。活動は、認知症の人がどう暮らしていきたいかの「声」を聴き、ともに活動を考えることから始まります。本人や家族のニーズ、サポーターのできること、さまざまな状況に応じて、チームオレンジは多様なかたちが考えられます。

認知症の人もチームの一員として主体的に参加することも大事なポイントです。本人と「ともに」という言葉を大切に、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりをすすめていきましょう。



認知症サポーターキャラバン事務局ホームページより抜粋

大和市のチームオレンジの取組

大和市が目指すチームオレンジは、認知症の“困りごと”に寄り添うばかりではなく、認知症の人の「やりたい」「続けたい」「はじめたい」等の“希望”に寄り添う活動をすすめていきたいと考えています。

市内には、現在、18 のチームオレンジが活動を行っています。

大和市認知症 1 万人時代条例

誰もが自らに関わることとして認知症を理解し、

それぞれの望む暮らしを続けられる、

認知症とともに歩むまちを一丸となって目指す。

チームオレンジ研修スライドより抜粋



大和市認知症 1 万人時代条例



認知症の人の「希望をかなえるヘルプカード」



3. チームオレンジの活動例

① 外出の同行、日常生活のサポートなど

認知症の症状は、人それぞれ違うものですが、例えば、時間や場所を覚えるのが苦手だったり、あるいは、一人で出かけたときに帰り道がわからなくなる不安があったりします。こうしたことがあると外に出ることが少なくなってしまうです。

「私もいくから一緒にいきませんか」など、ちょっとした声かけが、本人にとっては大きな力になります。



② 認知症関連イベントへの運営参加

認知症の人やその家族、地域住民と一緒に楽しめる認知症カフェやイベントを開催しています。スタッフとして参加してみたい方は、地域包括支援センターまでご連絡下さい。



認知症サポーターによる認知症カフェのサポート(南林間地域包括支援センター)

③ 認知症で悩んでいる人に対する情報提供

認知症で悩んでいる人に対して、市や地域包括支援センターが行っている認知症支援事業や相談先の情報提供をお願いします。

- ▶ 事業の一覧や相談窓口の連絡先は「認知症ケアパス」「大和市高齢福祉サービスガイド」などに掲載しています。



大和市の認知症に関する取組を紹介しています



チームオレンジの活動って大変？

活動は、日常生活の中で無理せず出来る範囲のことで構いません。

例えば、道に迷っている認知症と思われる人を見かけたら交番の警察官に伝える、近所に住む高齢者が心配なので地域包括支援センターに相談する、それも立派なチームオレンジの活動です。

認知症に関する正しい知識と理解をもって、ちょっとした気遣いができれば、本人や家族だけでなく、誰もが認知症とともにより良く生きていくことができます。



④ 安心して外出できるお手伝い

認知症と思われる人を見かけたら、さりげなく様子を見守り、状況に応じて優しく声をかけてください。



▶ このシールを知っていますか？

大和市では、認知症により、行方不明となるおそれのある人に、早期発見、事故の未然防止のため、身元確認用のシール等を配付しています。困ったような様子の方を見かけたら、声をかけてください。認知症等が原因で道に迷っているかもしれません。



反射ステッカー

反射素材を使用しているため、夜でも目立ちます。



QRコードシール

QRコードを読み取ると、大和警察署等の連絡先が表示されます。

ワッペン

衣服の内側(上着の内側、襟の後ろ、ズボンの裏側)などに貼り付けておくと、いざという時の早期発見につながります。

はいかい高齢者等SOSネットワーク

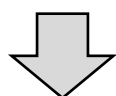


4. チームオレンジで活動したいときは

チームオレンジの活動に関心がある方は、地域包括支援センターまでお申し出ください。

○「認知症サポーター養成講座」を受講する

認知症サポーター養成講座は市内9つの地域包括支援センターで開催されています。(5人以上の団体に対しては、随時開催することもできますので、ご相談ください。)

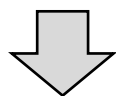


○「チームオレンジ研修」(ステップアップ講座)を受講する

講座は、講義とグループワークで約2時間の内容になります。

(年2～3回の実施を予定しています。)

「認知症とともに歩むまち」を目指し、チームオレンジとして活動するための知識や活動に向けての心構えなどについて考えます。



(マッチング)

活動開始！



グループワークのようす(令和6年9月)

5. 活動で注意すること

<意思決定支援について>

認知症の人が自分の思いや希望に基づき物事を決められるよう、心がける必要があります

【ポイント】

- ・丁寧に対話し、信頼関係を築く。
- ・本人の生活や家族関係、これまでの歩みなどの理解に努める。
- ・本人が意思を伝えやすい環境となるよう、慣れ親しんだ場所を選んだり、時間をかけて安心感を持たせる態度で接したりする。

<個人情報の保護について>

チームオレンジの活動で知り得た個人情報は他人に口外せず、適切に取り扱ってください。このことは、チームオレンジの活動を終了した後も同様です。

【注意点】

- ・情報の管理を明確にする
- ・知り得た個人情報は、厳に口外しない
- ・共有する情報は必要最低限にとどめる
- ・情報を共有する範囲をあらかじめ決めておく
- ・情報を共有する関係者で守秘義務について確認し徹底する
- ・個人情報が記載された書類等は他人の目に触れないよう、また紛失しないよう厳重に扱う
- ・不要になった書類等はシュレッダーにかけて確実に廃棄する(返却する)
- ・緊急事態のときは、生命や身体の安全を守ることを優先し、(予め本人の同意を得て)警察や消防等関係機関に連絡



<活動中の事故やケガについて>

活動中は、さまざまな事故やケガなども想定されます。事故防止及び安全な運営に努め、活動内容に応じて、各団体や個人で保険について検討しましょう。

【参考】

●やまとボランティアセンター(大和市社会福祉協議会)のボランティア活動保険

問合せ先:046-260-5643 保健福祉センター4 階

<概要>

- ・活動中の偶然な事故によるケガ(死亡・入院等)の補償と賠償責任の補償です。
- ・自動車での事故は、加入している自動車保険での対応となります。
- ・個人での加入 OK です。
- ・保険料 ①基本プラン:年間 350 円 ②天災・地震補償プラン:年間 500 円
- ・やまとボランティアセンター窓口で申込が必要です。
- ・民生委員は市でまとめて加入しているため、申込が重複しないよう注意してください。

●大和市新しい公共を支える市民活動補償制度(ボランティア保険)

問合せ先:046-260-5103 市役所本庁舎 1 階 市民活動課

<概要>

- ・市民活動中に発生した賠償責任事故、傷害事故、特定疾病の補償です。
- ・事前の申し込みや保険料の支払いはありません。
- ・保険適用には条件があります。
- ・事故発生後速やかに担当課又は市民活動課へ連絡してください。



補償対象者など詳細は、
市のホームページでも
確認できます。

※申込方法や補償内容の詳細は、各問合せ先へご確認ください。

※上記の内容は変更になる場合があります。

6. 認知症地域支援推進員がいます

市では、認知症の人やその家族を支援する相談業務、認知症に関する医療・介護等の連携強化等による地域の支援体制構築等、認知症ケアの向上を図ることを目的とし、地域包括支援センターと人生100年推進課に認知症地域支援推進員（認知症コンシェルジュ）を配置しています。

保健師、看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職が担当し、チームオレンジ構築と活動サポートを行うコーディネーターとしての役割も担っています。



認知症地域支援推進員（認知症コンシェルジュ）の取組

地域包括支援センターの取組が国の調査研究事業で取り上げられました



卷末資料

若年性認知症の自主グループ「わすれな草の会」の紹介

若年性認知症の本人や家族と支援者が、交流や学びを通じて、日頃の悩みや喜びを共有していくことを目的とした自主グループです。

「若年性認知症への理解を深めたい」「活動に携わりたい」と思う方は、認知症地域支援推進員(認知症コンシェルジュ)へご連絡ください。



初詣



会のモチーフ

彩色は認知症の本人が担当
原画はケアマネジャー作成



大和駅前清掃



陶芸体験



書初め



FM やまと出演



天満宮のスタッフで活躍



オレンジノバージョン
プロジェクトでの意見交換



受賞!!



認知症とともに
生きるまち大賞

話を聞いてみたい！
という方も
ぜひご連絡ください。

本人メンバーは60～70歳前半です。
仲間が少しずつ増えています。



活動紹介

わたしのやりたいこと

聞かせて



わたしのできること

聞かせて



(MEMO)

☆ お問い合わせはこちらまで ☆

大和市 人生100年推進課 認知症施策推進係

電話 046-260-5612



認知症施策推進係からのお知らせ

最新情報をピックアップして掲載しています

